

# 市民の皆様の声を市政に

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることが出来ます。  
12月定例会では、一般質問に22人の議員が登壇しました。  
限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録、市議会ホームページをご覧ください。

## 市民の疾病の特徴は

**問** 疾病の男女、世代の特徴はあるか。

**答** 厚生労働省のデータによると、痛風は、男性が女性の約14倍多く、糖尿病、脳卒中、狭心症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍では男性の割合が多く、リウマチは、女性が男性の約35倍、骨粗しょう症では、女性が男性の約15倍多く、脂質異常症、甲状腺の病気、認知症、自律神経失調症、高血圧症などで女性の割合が多くなっています。

本市の国保加入者の一人当たり医療費では、循環器、新生物の2疾患で全体の36%を占め、64歳以下の男

性を循環器系疾患が女性の1.5倍、65歳以上では、女性が男性の2.2倍となっています。  
循環器系疾患は男女共に高齢になるほど患者さんが増え、65歳以上の患者さんが64歳以下に比べ約9倍であることから、医療費増大の要因となっています。

**特養待機者への対応は**

**問** 介護施設整備の予定は。

**答** 現在、特別養護老人ホーム7カ所・定員533人、老人保健施設4カ所・定員430人が整備されています。  
平成25年度・平成26年度に特別養護老人ホームを50床ずつ、計100

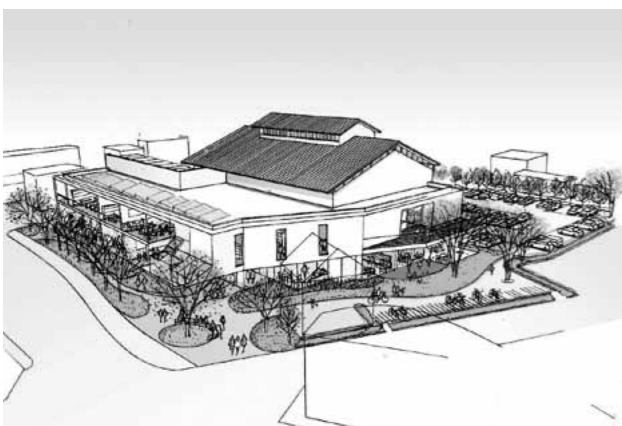
えています。

## 川里地域生涯学習施設の計画は

**問** 複合施設の内容はどのようなのか。

**答** 川里支所と生涯学習施設・児童館の複合施設として整備し、行政サービスの向上と市民生涯学習活動の支援に向け、施設利用の利便性の向上を図るものです。

子供からお年寄りまで幅広い市民が楽しみながら、学び、ふれあいを深める場として「生涯学習センター」の機能を有する複合施設を計画しています。



川里地域に計画されている生涯学習施設

## (仮称)吹上北側生涯学習施設の建設概要は

**問** 建設場所についてはどうか。

**答** 北新宿の土地区画整理地内を建設候補地として検討したいと考えています。選定理由として、吹上駅より北側の公共施設整備状況及び今後の予定を勘案し決定をしました。

**問** 計画は。

**答** 事業を進めるにあたり、用地の取得と並行し、施設の規模・内容について検討し、プロポーザル方式により設計業者の選定を行っていきます。その後、基本設計、実施設計等を行い、建築本體工事、外構工事等計画しています。

完成年度については、(仮称)総合的教育施設及び川里地域生涯学習施設の進捗状況や、合併特別債の期間も考慮し、検討していきます。

## ここのす花まつりさらなる賑わいを

**問** イベントテーマ・内容・会場、マスメディアの活用や周知の方法は。

**答** テーマを「美しさ・華やかさ・香りを感じる花まつり」と題して、「花」をモチーフとした魅力的なイ

床を整備する計画です。  
今後は、介護付き有料老人ホーム整備についても検討していきたいと考えています。

## 団塊世代の働く意欲と能力の活用を

**問** 定年退職後の団塊世代のアクティブライフ創出支援は。また、市民活動サポート事業は。

**答** 生涯学習フェスティバルや市民大学の実施に関して、事業の企画・運営への協力のほか、公民館講座などを開設しています。

専門的な知識や技能・経験を持つている方を「鴻巣市生涯学習人材バンク」に登録し、講座やサークル活動などの指導者として活動してもらうシステムもあります。

今後も貴重な経験や知識・技能を生かせるための支援を行ってきたいと考えています。

(仮称)市民活動サポートセンター事業は、第5次総合振興計画における平成24年度実施計画対象事業です。

市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民と市民活動団体の活動を支援並びに促進し、市民の広範かつ多様な活動を総合的に

ペントを演出したいと考えています。

主催を「ここのす花まつり実行委員会・鴻巣市」とし、市民・関係諸団体の協力をいただき、市民参加型のイベントとして開催していく予定です。

会場は、せせらぎ公園を中心に、馬室荒川河川敷のポピー会場、花久の里、市内オーブンガーデン会場を設置するとともに、鴻巣、川里、吹上の3地域の一体感がさらに図れるよう、吹上会場を新設する計画です。  
広報紙、新聞折り込みチラシ、ラジオ、情報誌等への早めの情報提供を行い、マスメディアの積極的な活用を考えています。



昨年の花まつり会場

## 放射能測定器の貸出はできないか

**問** 放射能測定器の市民への貸出の

支援する拠点施設としての役割を果たすものです。

## 自転車の安全対策は

**問** 自転車の安全対策について、事故やトラブルを防止するための具体策は。

**答** 埼玉県においては、マナーを守って安全に自転車に乗ることを促す「自転車安全促進条例」を制定する方針を決定したことです。

また、平成20年6月1日に道路交通法が一部改正され、普通自転車の歩道通行範囲が拡大しました。

主な改正点は、自転車で行ってもよいと表示されている歩道以外の歩道でも、①13歳未満の子どもが運転する場合、②70歳以上の人が運転する場合、③車道通行に支障のある身体障がい者が運転する場合、④車道通行が危険な場合には、歩道を自転車が行きできるようにしました。  
その他に、自転車を運転する13歳未満の子どもや、補助椅子などで自転車に同乗する6歳未満の子どもに乗車用ヘルメットを着用させるよう努めることが、保護者の義務となりました。

これらを守ることで、自転車に関係する事故を減らしていければと考えます。

**答** 貸出事業では、1台で1日1件しか対応できないため、申込みが多数の場合は長時間待つ事態が想定され、また測定器の損壊等の課題も生じます。

市では、職員または委託業者による訪問測定で、要望のあった自宅や自治会施設等の敷地内放射線量を測定することに決定しました。

祝日を除く月曜日から金曜日までの午前9時から午後4時までの間、1申請・1敷地当たり20分を限度に訪問測定を行ってまいります。

## 保育所の再編は

**問** 保育所再編計画のの中身は。

**答** 公立保育所再編計画は、施設の老朽化や十分な面積を確保できていない駐車場や園庭に関する対策を中心とした保育所の統廃合を含めた建設計画となっています。

具体的には、鎌塚保育所及び吹上富士見保育所を廃し、新たに高崎線北側に、(仮称)「吹上コスモス保育園」を新設する計画、また、馬室保育所の敷地を拡張するとともに、同保育所に富士見保育所を統合し、老朽施設の解消を図る計画の二つとなっています。